

建築物名称	(仮称)五條製紙物流センター新築工事
受付日	令和2年10月23日
建物所在地	富士市第二東名IC周辺地区土地区画整理事業地内 保留地6-2街区5号地
構造規模等	鉄骨造／地上2階／延床面積9,282.00平方メートル／新築
建物用途区分	工場
建築主	五條製紙株式会社 代表取締役 川口 幸一郎
設計者	大和ハウス工業株式会社 沼津支店建築一級建築士事務所 鈴木 克哉
工事完了予定日	令和3年10月29日

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)五條製紙物流センター新築工	階数	地上2F
建設地	静岡県富士市	構造	S造
用途地域	準工業地域、市街化区域	平均居住人員	12人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,322時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2020年10月12日
敷地面積	13,015 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社沼津支
建築面積	4,981 m ²	確認日	
延床面積	9,282 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。建物利用者の快適な生活環境を維持するため、安全性の面からはF☆☆☆の内装材を使用、節水型機器の使用は資源の有効利用につながる。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	F☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用している	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	できる限り緑地を設けた	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に配慮している	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	資源の有効活用に努めている	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率=75%	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)五條製紙物流センター新築工事	BEE	1.5	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点 [※] /満点		取組み度		評価				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	4.0	/5			よい				
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5			がんばろう				
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5	/5			ふつう				
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7	/5			がんばろう				
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点		4.0		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)						
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ②屋光率2.94% ④主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ビニルクロス 20年 ④空調・給排水配管の更新必要間隔 主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用、Eは不使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑤外構緑化指数16.94% ⑥空地率61.73% ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦BPI=0.73 ⑨BEI=0.35 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節水コマなどに加えて、省水型機器などを用いている。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭ライフサイクルCO2排出率68% ⑮隣棟間隔指標Rw 3.11 	Q-1 2 2.1 2.2 Q-1 3 3.1 3.1.3 3.2 3.2.1 Q-2 2 2.2 2.2.1 2.2.2 2.2.3 2.2.4 2.2.5 2.2.6 Q-3 1 3 3.2 LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2 LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.1.3 2.1.4 2.1.5 2.1.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3 LR-3 1 2 2.2	① 外皮性能 ② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善				
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)					
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯地域係数Z=1.2 	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備			
		"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)				
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑱バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ㉑庇を設けた 	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2 Q-3 3 3.1	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上			
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)						
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑳外構緑化指数 16.94%確保した。 ㉓緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。 ■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ㉔見付面積比 62.4% 	Q-3 1 2 3 3.2 LR-3 2 2.2	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ㉓ 敷地内温熱環境の向上 ㉔ 温熱環境悪化の改善				